



奇々怪々な「HPVワクチン」

「予防接種」とは「疾病しつぺいに対して
免疫の効果を得させるため、疾病
の予防に有効であることが確認さ
れているワクチンを、人体に注射
し、又は接種すること」(予防接

りません。飽く迄も予防効果。と
は言え、「疫病の予防に有効であ
ることが確認されている」のが大
前提。「HPVワクチン」子宮頸
がんワクチン」を巡って、日本
のみならず地球規模で巻き起こる甲
論乙駁かんおぼくは、この点なのです。

性行為を介して感染する性感
症ウイルスのヒトパピローマウイ
ルス＝Human papillomavirus＝
HPVは、エボラウイルスと同じ
く動物感染実験が不可能。獲得免
疫力が強く、免疫持続期間が長い
「生ワクチン」の製造も不可能。

インフルエンザ、日本脳炎、麻疹、
流行性耳下腺炎おたふくかぜを始めとする既存
のワクチンとの決定的な違いです。

動物実験を経ずに認可され、巨
大製薬企業グラクソ・スミスクラ
イン＝GSK、メルク&カンパニ
ー＝MSDが製造・販売するHP
Vワクチン。前者のサーバリク

スは、遺伝子組み換え技術を用い
て蛾がの細胞内でウイルスを増殖。
後者のガーダシルも遺伝子組み換

え技術で酵母を培養。共に水酸化
アルミニウム等の免疫賦活剤めんきょくかつかっⅡア
シユバントを含有。重篤な副反応
の原因か、と指摘される所以です。

豈あは図らんや、HPVワクチン接

種後の神経障害を特集した学術専
門誌『神経内科』に拠れば、子宮
頸がんの死亡リスクは0・3%。
2%の大腸がん、1%の乳がんよ
りも低率。生涯罹患りかんリスクも9%
の乳がん、8%の大腸がん、6%
の胃がん、5%の肺がん、2%の
膵すいがんよりも低い1%です。

更に5年相対生存率も91%の乳
がんに次いで高い73%。10年相対
生存率も乳がん79%、子宮頸がん
66%、大腸がん63%、肺がん31%、
胃がん58%、膵がん5%の数値で
す。乳がん同様に子宮頸がんも
「早期発見・早期治療」が可能、
と捉えるべきなのです。

女優の高橋マアリージュン嬢は
近著で、HPVワクチンを接種し
たにも拘らず5年9カ月後に受診
した子宮頸がん検診で罹患が判明
し、けれども手術に至らず根治し
たと告白しました。

ヒト乳頭腫ウイルスとも呼ばれ
るHPVは一昨年の段階で180
種類以上が確認されています。他
方で、日本で最初に認可されたG
SKのサーバリックスはHPV16
型・18型の2種類以外に効果は確
認されていないと添付文書に明記
されています。MSDのガーダシ

ルとてHPV6型、11型、16型、
18型の4種類に効果と記されてい
ます。恐らく彼女は、その4種類
以外のHPVに罹患したのです。

2013年3月28日、厚生労働
省健康局長は国会で、HPVワク
チン接種対象の日本人女性のHP
V感染率は16型が0・5%、18型
が0・2%、計0・7%と「告
解」。更に性感症ウイルスのH
PVは米国に於ける3年間の調査
で自然排出90%、自然治癒90%、
更に「適切な治療が行われた場合
には治癒率は概ね100%と日本
産婦人科腫瘍学会のガイドライン
にも記載」と「援用」。

が、翌日にHPVワクチン定期
接種化の予防接種法改正案が成立
副反応に苦しむ少女が相次いでい
ます。欧米「先進国」では7〜8
割台の子宮頸がん検診受診率が2
割台に留まる日本。優先順位は明
々白々。細胞診さいぼうしんとHPV-DNA
検査の子宮頸がん検診を義務化す
る方が、年間予算300億円のH
PVワクチンよりも遙かに「有効」。
なのに「意識高い系W」の面々
は如何なる皮算用か、HPVワク
チン接種勧奨を唱和。実に奇々
怪々な「新車の公共事業」です。

★次号のHPVの発行口は0000000000。